

## 投棄された 古タイヤを撤去



県道沿いの投棄ゴミ

昨年末の清掃活動で集められたゴミの中に、業者が投棄したと思われる古タイヤ大量に発見されました。

一般のゴミと違って、処理に経費がかかるため放置されたままの状態でしたが、野焼き実行委員会で話題に取り上げ、県の指導で撤去が決まり、9月21日、産廃処理業者によって撤去されました。

観光客の多い通りで目立っていたゴミがなくなりましたが、湿原内には豪雨時に流されたまま、まだ残っている可能性があります。

湿原植生の復活と美観維持のためにも、注意深く見守りましょう。



大量に投棄されていた古タイヤ

## ヒゴシオン(キク科) 見当たらず

猪の瀬戸湿原内にはレッドデータブックに掲載された絶滅危惧種が数多く生育していることが知られていますが、その内、絶滅危惧1Bにランクされたキク科のヒゴシオンを調べたいと、去る9月21日(土)輪地切り作業の後、東大院生の倉田観正氏が訪れて会員10数名と湿原内を歩いて探しました。1993年の報告書には掲載されていますが、今回は見つけることができませんでした。もしかすると、猪の瀬戸では絶滅してしまったのかもしれない。精査の必要があります。県内ではタデ原湿原で確認できたそうです。



ヒゴシオンの特徴を説明する倉田氏